

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年8月20日(2024.8.20)

【公開番号】特開2024-96905(P2024-96905A)

【公開日】令和6年7月17日(2024.7.17)

【年通号数】公開公報(特許)2024-132

【出願番号】特願2024-66115(P2024-66115)

【国際特許分類】

A 61K 31/44(2006.01)

10

A 61K 39/395(2006.01)

A 61K 45/00(2006.01)

A 61P 43/00(2006.01)

A 61P 35/00(2006.01)

A 61P 35/04(2006.01)

【F I】

A 61K 31/44

A 61K 39/395 N

A 61K 45/00

A 61P 43/00 121

20

A 61P 35/00

A 61P 35/04

A 61P 43/00 105

A 61K 39/395 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月9日(2024.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レゴラフェニブと、アベルマブ(MS B 0 0 1 0 7 1 8 C)とを含む組み合わせ医薬。

【請求項2】

互いに分離した成分を含む組み合わせパックである、請求項1に記載の組み合わせ医薬。

。

【請求項3】

同じ疾患の治療に使用するために、成分が別々の剤形で同時にまたは連続して投与される、請求項1または2に記載の組み合わせ医薬。

【請求項4】

過剰増殖性障害治療用薬剤として使用するための、請求項1～3のいずれか1項に記載の組み合わせ医薬。

【請求項5】

過剰増殖性障害が、乳房の癌、気道の癌、脳の癌、生殖器官の癌、消化管の癌、尿路の癌、目の癌、肝臓の癌、皮膚の癌、頭頸部の癌、甲状腺の癌および副甲状腺の癌ならびにそれらの遠隔転移からなる群から選択される、請求項4に記載の組み合わせ医薬。

【請求項6】

過剰増殖性障害が、肛門癌、結腸癌、大腸癌、食道癌、胆囊癌、胃癌、脾臓癌、直腸癌

50

、小腸癌、および唾液腺癌からなる群から選択される、請求項4に記載の組み合わせ医薬。

10

20

30

40

50